

2009. 9

HIOKI Cit

Vol.53

ひ
お
ま

主な記事

日置市総合防災訓練2

日置市の交流・研修事業4

国保シリーズ46

共生・協働の地域づくり37

まちの話題8

市民の広場18





消防による救出訓練



水防訓練(積み土のう工法)



ボランティアセンターの設置・運用訓練



地域住民をはじめ多数の機関が参加



放水訓練



県防災航空隊による救出訓練



救助犬による行方不明者捜索訓練



応急救護訓練



避難誘導訓練

日ごろの備えと災害発生時の すばやい対応が命を救います

「平成二十一年八月三十日、吹上浜沖を震源とする強い地震が発生し、東市来地域で震度5強を観測。一方、薩摩地方では大気の状態が不安定となっており、豪雨、降り始めからの雨量は多いところで四〇〇ミに達するおそれ」

また、地震による多数の家屋の倒壊や火災が発生し、豪雨によるがけ崩れや堤防の決壊などへの警戒が必要な状況下。その時、あなたはどのような行動を、いざという時の判断と行動が生死を分けることになるのです。

防災体制の充実と 防災意識の高揚を図る

地震、台風、豪雨など自然災害が多い日本では、普段から災害への備えを行い、訓練しておくことが重要です。また、救助活動は災害発生後の初動体制が重要といわれています。

そのため、市では、関係機関と協力しながら、かつてない大地震と豪雨が、同時に日置市を襲うという想定で八月三十日、鹿児島県消防学校（東市来）で市防災訓練を行いました。訓練には、関係機関十四団体が参加し、住民への避難誘導、救助訓練、消火訓練、炊飯支援訓練などの「実動訓練」が実施

されました。

いつでも、どこでも 起こりうる災害

近年、局地的な大雨により尊い命が犠牲となる災害が発生しています。

今年も、七月十九日から二十六日にかけて中国地方と九州北部で記録的な豪雨により深刻な被害を与えました。

わたしたちは、常に災害の危険と隣り合わせで生活しています。「自分の住んでいる地域は大丈夫」という油断で、時として生命が危険にさらされることにもなります。日ごろの防災対策が、いざというときに家族の命を守ることになるのです。

地震があったら

地震が発生したとき、落ち着いて行動できるように、日ごろから地震の際の心構えを身に付けておくことが大切です。

○丈夫なテーブルなどの下にもぐり、頭を座布団などで保護しましょう。

○戸を開けて、出入り口の確保をしましょう。

○棚や、棚に載せてあるもの、テレビなどが落ちてくるので、離れて揺れが収まるのを待ちましょう。

○あわてて外に飛び出さないようにしましょう。

☆非常持ち出し品の中身を確認し、すぐ持ち出せる所に置いておきましょう。(明かり、医薬品、水、ラジオ、食料、衣類、貴重品など)

参加機関

- 日置市、日置市消防本部、日置市消防団、鹿児島県防災航空センター、鹿児島県警察本部、九州管区警察局鹿児島県情報通信部、日置市医師会、日置警察署、東市来地域四自治会、日本赤十字社鹿児島県支部日置市地区日赤奉仕団、日置市社会福祉協議会、南九州コカ・コーラボトリング株式会社、南九州ペプシコーラ販売株式会社、NPO法人九州救助犬協会鹿児島

非常時の通信方法を覚えましょう!

災害用伝言ダイヤル

災害時(震度6弱以上の地震など)にはNTTの災害用伝言ダイヤル「171」が稼働します。家族や知人の安否を確認したいときなどに活用しましょう。

■災害用伝言ダイヤルの使用方法 音声案内が流れるので、それに従って落ち着いて利用しましょう。

録音方法 171▶▶1▶▶ (XXX)XXX-XXXX▶▶ 伝言を録音する

再生方法 171▶▶2▶▶ (XXX)XXX-XXXX▶▶ 録音を聞く

※自分が被災地の人である場合は自宅の電話番号を、被災地以外の人の場合は被災地の人の電話番号を入れて下さい。



携帯電話の災害用伝言板

災害時(震度6弱以上の地震など)に携帯電話サービス各社は、「災害用伝言板」を開通します。被災地の人の安否情報を伝言板に登録でき、登録された伝言は、同じ会社の携帯電話だけではなく他社の携帯電話・PHS、パソコンからも見ることができます。

■伝言板登録のしかた

携帯電話各社のインターネットのトップページから「災害用伝言板」を開く

「登録」を選択して伝言(100字程度)を入力する

■伝言板確認のしかた

携帯電話各社のインターネットのトップページから「災害用伝言板」を開く

「確認」を選択して被災地の人の携帯電話番号を入力して伝言を見る

※サービスの詳細はお持ちの携帯電話サービス会社にお問い合わせください。



▲地域住民による初期消火訓練(バケツリレー)





'09 夏 日置市の 交流・研修事業



離島での自然体験や野外活動、異年齢集団による共同生活を通して、次代を担うたくましい青少年の育成を図ることを目的に、青少年リーダー研修「チャレンジいおう島」が実施されました。昨年度まで屋久島で行っていた研修を硫黄島に変え、市内の小学五年生から中学三年生までの児童・生徒三十九人が七月二十八日から三泊四日をすべてテント泊、そして自炊という日程で行いました。

また、西アフリカに伝わる伝統打楽器「ジャンベ」体験や、海水が赤く染まった港での魚釣り体験、キャンプファイヤーでは各班から出し物もあり、それぞれたくさんの思い出ができたようです。炊飯活動は、回を重ねるごとに火おこしや調理などが早くできるようになりました。班のまとまりも日を重ねるごとに深まり、「他人との協調や思いやりの心」が培われました。今後、団員たちがこの研修の成果を家庭や学校、地域で発揮してくれることを期待します。



▲ウォークラリー



▲西アフリカに伝わる伝統打楽器「ジャンベ」体験

チャレンジいおう島

7/28～7/31

たくましい青少年の育成

関ヶ原町・日置市
スポーツ少年団親善交流

7/31～8/2

関ヶ原町スポ少交流30年
さらなる友好を深める

岐阜県関ヶ原町のスポーツ少年団派遣団一行（関ヶ原バレーボール少年団、十五人）が七月三十一日から三日間、日置市を訪れ、本市スポーツ少年団員と交流しました。この交流は、旧伊集院町が兄弟都市盟約を締結していた関ヶ原町とのスポーツ少年団の相互交流で、昭和五四年から始まり今年で三十回目となります。初日は、市内の各少年団員約百五十人が参加しチェスト小鶴



▲関ヶ原バレーボールスポーツ少年団の皆さん

ドームで歓迎式典が行なわれ、伊集院バドミントン少年団の西原口嶺君が「三日間楽しく交流しましょう」と歓迎しました。その後、グラウンドゴルフなどで交流しました。二日目は、来年、関ヶ原町を訪問する伊集院ソフトテニススポーツ少年団と交流しました。両日とも、始めは互いに戸惑っていましたが時間が経つにつれ、次第に打ち解け、友好を深めました。



▲ソフトテニススポーツ少年団と交流



関ヶ原の合戦や木曾三川の宝暦治水工事で活躍した薩摩義士の足跡をたどる関ヶ原戦跡踏破隊が、八月五日から四泊五日の日程で、岐阜県や三重県、滋賀県などの史跡を巡りました。日置市は、岐阜県関ヶ原町、滋賀県多賀町と兄弟都市提携を結んでおり、夏休みを利用して毎年、踏破隊が訪問しています。五十回目の節目となった今年の踏破隊には、小学五年生から中学二年生までの隊員十二人と指導者九人が参加しました。

赤い陣羽織姿の一行は五日早朝伊集院駅を出発し、昼過ぎには岐阜県関ヶ原町に到着。同町では、関ヶ原合戦で敵中突破を遂げた陣跡などを見学。また、同県養老町や海津市を巡り宝暦治水工事で犠牲となった薩摩義士の偉業を学びました。三日目からは、関ヶ原合戦のび、島津越えの滋賀県多賀町までの約六十キロを踏破し、薩摩の先輩の生き方を学ぶ、自己練磨の貴重な体験となりました。

第50回 関ヶ原戦跡踏破隊

8/5～8/9

島津越えで60キロを踏破

岐阜県大垣市青少年交流事業

8/6～8/10

ホームステイで交流を深めました

八月六日から十日まで、小学生六人の交流団が岐阜県大垣市上石津地域を訪問。ホームステイや、さまざまな体験を通じて、歴史を通じた交流を深めました。上石津地域は、関ヶ原合戦での島津軍の敵中突破において、島津豊久が戦死した地として、吹上地域と歴史的に深い関わりがあり、平成十八年に日置市と友好都市を宣言しました。日置市では、大垣市との友好親善を深めるために、青少年交流団を隔年で相互派遣しています。



▲団員らは、上石津の歴史など、吹上地域とのつながりについて学びました

国保シリーズ4

日置市の国民健康保険
本市の国民健康保険（以下、**国保**）の現状を知ってもらうために、国保の内容を中心に6回シリーズで掲載します。
今回は、ジェネリック医薬品についてお知らせします。



ジェネリック医薬品を活用しよう!!

ジェネリック医薬品とは？
ジェネリック医薬品は、最初につくられた薬（新薬：先発医薬品）の特許が切れた後に、開発、製造、販売される**医薬品**です。
新薬は、特許期間（20～25年）が満了するまで多くの患者に使われ、その成分の有効性や安全性は確認されています。ジェネリック医薬品も新薬と同じ規制のもと、開発、製造、販売され、品質管理はより厳しいものとなつていきます。有効成分、分量、用法、用量、効能および効果が同じ医薬品として新たに申請されませんので、品質的な違いはないといえます。

(表) 病名の代表的な薬を1回/日使用し、1年間服用した場合の比較表
脂質異常症(高脂血症)の場合

期間	対象者	新薬	ジェネリック医薬品	差額
1年間	1割負担の方	4,380円	1,830円	2,550円
	3割負担の方	13,140円	5,480円	7,660円

高血圧症の場合

期間	対象者	新薬	ジェネリック医薬品	差額
1年間	1割負担の方	2,920円	730円	2,190円
	3割負担の方	8,760円	2,190円	6,570円

糖尿病の場合

期間	対象者	新薬	ジェネリック医薬品	差額
1年間	1割負担の方	7,300円	4,380円	2,920円
	3割負担の方	21,900円	13,140円	8,760円

(注) 表の金額は、薬代のみを計算した場合です。服用する患者が窓口で支払う場合は、薬代以外に、医師の技術料や検査料も含まれています。
(参照) 日本ジェネリック医薬品学会 2008.4月現在

ジェネリック医薬品を使うと？
まず、あなた自身の薬代負担が減ります。
ジェネリック医薬品の価格（新薬の2～7割）は、平均すると新薬の約半額です。
具体的に代表的な薬を1年間服用した場合、新薬とジェネリック

医薬品の価格差は、表のようになりまます。
また、医療費は、年々増加傾向にありますが、**市、国全体の医療費の軽減**につながります。
もし、特許期間が過ぎている薬が、すべてジェネリック医薬品に替われば、日本の医療費は年間約1兆円も削減できると言われています。
(参照) 日本ジェネリック医薬品学会



ジェネリック医薬品に切り替えるためには？

- ① お医者さんに相談しましょう！
- ② 処方せんにあるジェネリック医薬品への「変更不可」の欄に、医師のサインがなければ、薬局で薬剤師さんに希望カードを提示して相談することにより、ジェネリック医薬品に切り替えることができます。
(注意) 医薬品の価格は下がってもご自身のご負担は変わらないか、上がることもあります。
③ 薬を選びましょう。
薬剤師さんの説明を参考に yourself で選ぶことができます。



梅太郎

ジェネリック医薬品希望カードを使う！
9月中旬に市より「ジェネリック医薬品希望カード」を配布しました。受付時に診察券と同時に提示したり、診察時に医師に提示したりすることにより「ジェネリック医薬品を処方してもらいたい」という要望を簡単に伝えることができます。
不安なときは、かかりつけの医師や薬剤師に相談してください。
日本ジェネリック医薬品学会 ホームページ「かんじゃさんの薬箱」で、お使いの医薬品名を入力すると、ジェネリック医薬品が検索できます。
(http://www.generic.jp/)

次回シリーズ5 市の保健事業について紹介します。

問い合わせ先	本庁健康保険課	東市来支所市民課	日吉支所市民課	吹上支所市民課
TEL 099・273・2111	TEL 099・274・2111	TEL 099・292・2111	TEL 099・296・2111	TEL 099・296・2111
(内線 1132)	(内線 1132)	(内線 2133)	(内線 3126)	(内線 4133)



地区振興計画などによって、地区公民館を中心とした地域づくりを進めていくために、地区ごとに話し合い活動が行われています。
地区公民館には、その活動を支援しながら、とりまとめたり、市とのつなぎ役となったりして活躍する役職員が配置されています。

個性ある地区を支える

地区公民館には、地区民からの多様な要望に対応するために、市内26カ所に館長、地域づくり

指導員、地域づくり主事補を配置しています。これは、各地区の個性ある地域づくりを支えることも目的のひとつです。
館長が地域づくりの全体統括

地区公民館の状況

地域	地区名	電話番号	証明書取扱	自治会数	人口(人)
東市来	高山	274-9856	○	6	247
	上市来	274-3665	○	9	1,526
	皆田	274-2152	○	4	623
	湯田	274-2863	○	8	4,543
	美山	274-9150	×	4	609
	伊作田	274-9870	○	12	2,051
伊集院	鶴丸	274-2511	×	8	3,062
	伊集院	273-0315	○	33	11,817
	伊集院北	273-0769	○	14	3,758
	妙円寺	272-4550	○	8	5,725
	土橋	273-9130	○	4	1,207
	飯牟礼	273-1632	○	7	1,111
日吉	住吉	292-3567	○	5	832
	日新	292-2312	○	3	856
	日置	292-2111	×	7	2,341
吹上	吉利	292-3615	×	3	1,188
	扇尾	292-4060	○	1	234
	伊作	296-6533	×	17	3,413
	花田	296-3021	○	7	856
	野首	296-2127	○	4	424
	藤元	296-2896	○	5	542
上	平鹿倉	296-2889	○	3	150
	和田	296-3031	○	7	704
	吹上	296-2083	○	4	973
	永吉坊野	297-2005	×	13	1,460
	坊野	297-2846	○	1	203

*人口は平成21年4月1日現在住基
*日吉町諏訪自治会は2地区に所属
*証明書取扱いのない地区は最寄りの郵便局が支所をご利用ください

人間・財源・権限

これまで述べたように、日置市の地区公民館は、小学校区または旧小学校区の範囲を設定しています。その広さや人口、産業、地域資源がそれぞれ違います。
人口も、一万人を越える地区から、自治会統合により自治会と同規模の地区までさまざまです。地区を構成する自治会の数

も異なっています。
市では、地区が持っている個性を活かした活動を支援しながら、共生・協働の地域づくりを推進したいと考えています。
共生・協働の地域づくりには「人間」「財源」「権限」が必要だといわれています。地区を取りまとめるリーダーの養成や、活動の継続性に不可欠な財源の確保、そして地域内分権ともいわれる行政から地区などへの権限の委譲。
地区公民館を拠点とした共生・協働の地域づくりには、地域の総動員が必要です。

協働の地域づくり事業助成事業団体を募集しています

日置市では、市民自らが地域資源や人材を活かして取り組む、協働に役立つ公益性の高い事業に対し、その経費の一部を助成します。

- 対象事業** 地域活性化のイベント
世代間・地域間交流
地場産品の活用開発
地域人材の養成 など
*既存の事業は除きます。
- 対象者** 5人以上の団体で責任者が明確で、継続的に活動できること。
- 助成金額** 補助率3/4以内(助成限度10万円)
- 審査基準** 公益性、モデル性、実現性、発展性など
- 申請締切** 平成21年10月2日(金)

詳しくは、9月11日発行のお知らせ版または企画課コミュニティ係へお問い合わせください(内線1263)。

3期目の地域審議会がスタート

地域審議会合同会

地域審議会合同会が七月三十日、日置市中央公民館で開催されました。

地域審議会は合併後の市町村において、行政区画が広がることで地域事情や住民の意見が施策に反映されにくくなることのないように旧町単位の地域ごとに設置できるもので、日置市でも四地域ごとに設置されています。

各種団体の代表や公募などで構成される委員は任期が二年で

今年度から三期目。最初の会議となった合同会では、今年度の市の予算概要や総合計画にかかるとの主要施策などの説明を受け、地域の課題とその解決策への要望や新たな取り組みへの提案など、活発に意見が交わされました。

今後は、来年度の総合計画実施計画策定に向けた審議や、地域ごとに開催され、地域と行政を結ぶ大切な役割を担っていきます。



活発な意見交換会

女性議員と語る会

日吉地域各種女性団体連絡協議会主催の「女性議員と語る会」が八月一日、日吉中央公民館で開催され、会員約五十人が参加しました。

女性議員の方々の「教育・少子高齢化・福祉・環境・農業」についてのスピーチを聞いた後、意見交換が行われました。

意見交換会では、教育や少子高齢化の問題などについて、さまざまな意見や質問が飛び交い、時間が足りないほど有意義な会となりました。

拉致事件を風化させないために

吹上浜拉致事案広報活動

市川修一さんと増元のみよさんが、吹上浜で北朝鮮の工作員に拉致されて三十一年目を迎えた八月十二日、吹上浜拉致事件広報活動が行われました。

活動は平成八年から鹿児島県警や沿岸防犯協力会、行政などが取り組んでいるものです。

この日は、さつま湖休憩所前などで鹿児島県警が作成したチ

ランを、市川さんの兄健一さん夫婦と増元さんの弟輝明さん夫婦や関係者五十人が通行車両に対し配布し、事件に関する情報提供や事件を風化させないと呼びかけました。

事件から三十一年が経過。一日も早い全容解明、全面解決に向けて、地道な活動が続きます。



敬老の日を前にして

敬老の日を前に、小野馬場女性会（月野峯子会長）の会員による敬老プレゼントの作成が、七月二十八日と二十九日の二日間、小野馬場自治公民館で行われました。

今年、日本タオルや大判のハンカチを会員で持ち寄り、腕カバーや手ぬぐい風の帽子を作成し、散歩時や庭いじりの際に日よけ用として使ってもらえたらと、日ごろの感謝とねぎらいの心をこめて会員一同、一生懸命取り組みました。

作品は、九月二十一日に行わ



小野馬場自治会女性会

新火葬場完成

南さつま火葬場「白亀苑」が南さつま市加世田に建設され、



「白亀苑」

落成式典が八月三日、同火葬場で開催されました。

これまでの火葬場は、昭和四十七年に建設されたもので、老朽化し環境対策も万全ではなかったため、総事業費約十億五千万円をかけて建設されたものです。運営主体は、南薩地区衛生管理組合で本市では、吹上地域が該当します。

新火葬場は、床面積1070平方メートルの火葬棟と481平方メートルの待合棟からなり、一日最大八件に対応できます。

全国市町村教育委員会連合会表彰

上内修一さん(日吉)



前日置市教育委員の上内修一さん(日吉)の永年の功績に対し、全国市町村教育委員会連合会から表彰があり七月十六日、教育長室において伝達式が行われました。

上内さんは平成六年から平成十七年まで旧日吉町の教育委員として、その間、三年六カ月にわたり教育委員長も務められています。

清掃作業で地域に恩返し

日置市管工事組合

市内の水道工事業者でつくる日置市管工事組合(新山淳二会長)の皆さんが八月十九日、吹上浜公園相撲場周辺のトイレ掃除と周辺の草取りのボランティア活動を行いました。

日置市合併後四地域合同での活動は初めて。二十八社、三十四人の参加者がそれぞれトイレの清掃や、雑草の除去に汗を流していました。

約二時間で作業は終了。見違えるほどきれいになりました。同組合では、毎年ボランティア



ア作業や水道工事技術向上の研修などを実施しています。

子どもたちに家庭のぬくもりを

10月は里親月間です

十月は「里親月間」として、「里親を求める運動」が全国的に展開されます。

里親制度とは、さまざまな事情で家族と一緒に生活することができない子どもを、温かい家庭のぬくもりの中で愛情をもって養育していく制度です。

里親制度について関心のある方は、左記問い合わせ先までご連絡ください。

また、里親の活動をサポートしていただく賛同会員も広く募集しています。

(お問い合わせ先)

県児童総合相談センター
TEL 099・264・3003
本庁福祉課子ども福祉係
TEL 099・273・2111
(内線1126)

女性の元気で地域活性化

吹上地域婦人ふれあい運動会

吹上地域婦人ふれあい運動会が七月四日、吹上浜公園体育館で開催されました。

この運動会は、吹上地域内の女性が一堂に会し連携を深め、お互いを理解しあうことで、よりよい地域づくりにつなげようと開催するものです。

運動会には地域の女性団体約百五十人が参加。

会場では、趣向を凝らした競技に市長をはじめ多数の来賓の方も参加し、終日歓声と熱気に包まれました。



来年は年齢を問わず、もっと多くの方々に参加をいただきたいと願っています。

砂の像 つくったぞう

国際サンドアートフェスティバル2009



「国際サンドアートフェスティバル2009」が八月二日、江口浜海浜公園で開催されました。今年、県内外から三十四組の参加があり、二時間という短い制限時間の中で各チームそれぞれ工夫を凝らした作品を制作していました。また、同会場では貝掘りや積み上げた砂山の高さを競う「Beach Dig」(アゲ アゲ) 2009 など大人と子どもが一緒になって楽しめるイベントも行われ、会場は大変盛り上がりしました。



▲優勝チーム バッカス

上位入賞チームは次のとおりです。

- 優勝 バッカス
- 二位 ムジナ・重水家
- 三位 パパーズ

精霊を送り出す炎

北山の火振り

「北山の火振り」が八月十五日、北山自治会(東市来)の納骨堂広場で行われました。この「火振り」は、百年以上前から行われているお盆の伝統行事で、長さ五、六メートルもある青竹の先端にくくりつけたたいまつに火がつけられ、力いっぱい南北に振り、精霊を送ります。



火の粉を散らしながら舞う炎が夏の夜空を彩り、乾いた竹のはじける音が辺りに響きわたりました。目の前で披露される「火振り」の迫力に会場につめかけた地域の方々からは、多くの歓声がありました。

地域の思いを乗せて筏下り

第21回永吉川筏下り



永吉川筏下りが八月五日、同流域で開催されました。地域への思いを込めた手づくりの筏八枚が参加、出発点の川久保橋から終点の浜田橋までを電飾を点滅させながらゆっくり下り、川面に映えていました。「永吉の郷社」久多島神社夏祭りを盛り上げる為に、地区青壮年が中心になって行ってきたこの筏下りも今年で二十一回目

の開催となり、夏の風物詩として定着しているようです。各部門の最優秀賞は次のとおりです。
【筏部門】 下草田希望号(2区)
【標語部門】 KIDS5号(5区)
「清流に 彗星が映える 豊かな山河 共に残そう 筏下り」

地域の伝統をつなぎました

伊作太鼓踊奉納

鹿児島県の無形民俗文化財でもある伊作太鼓踊が八月二十八日、南方神社に奉納されました。六保存会が毎年輪番で奉納しており、今年はい来太鼓保存会がその担当。保存会では、奉納に向けて二月から奉納日までひたすら練習に取り組みできました。

境内に響く鉦や太鼓の音に合わせ矢旗をならせる勇壮な踊りに、観衆は惜しみない拍手を送っていました。

この後、猛暑の中、二日間にわたり四十力所あまりで披露されました。

また、太鼓踊という伝統をつなぐと、地域の関係者そして家族らは事前の準備から当日の付き添いまで、側面から支えました。

伊作太鼓踊は、応永十三(一四〇六)年の、伊作島津家第四



代の城主久義が田布施攻めの戦勝踊りが起源とされています。

和太鼓の領域を超えた演奏を披露

吹上青松太鼓

吹上青松太鼓保存振興会(北野和則会長)が七月十九日、東京都新宿区の日本青年館で東京公演を行いました。同会は平成六年結成。公演は十五周年の節目に、故郷を離れて関東で暮らす出身者に、郷土に生きる若者の熱い想いを、太鼓で届けたいと開催したものです。公演のテーマは、十五周年の歩みを振り返り、新たな歩を踏み出すために「道」。

開演前、懐かしい顔を見つけては鹿児島弁が飛び交う日本青年館。そのステージで吹上青松太鼓のメンバー十四人は、和太鼓の領域を超えた演奏を披露、歓声と拍手を浴びました。来場者は「太鼓の響きに吹上浜を思い出し、打ち手の笑顔に元気をもらった」と満足げ。ゲストとして日置市出身の歌手、福元慎一さんのショーや、日置市に本部を置く少林寺流練心館東京地区本部の演奏が花を添えました。会長の北野さんは「夢と希望と感動を与えるステージができた。これからも一期一会



を大切に精進したい」と目を細めていました。同会の十五周年記念公演は九月二十二日、日置市伊集院文化会館でも開かれました。



軽やかな鉦の音と力強い太鼓が響く!

日吉地域太鼓踊り(吉利南区・日置諏訪)

吉利南区太鼓踊りが八月二十二日に、日置諏訪太鼓踊りが同月三十日にそれぞれ神社で奉納されました。前には大きな太鼓を、後ろには色鮮やかな矢旗を背負い、猛暑の中、汗を流しながら懸命に踊る踊り手。その勇壮な踊りが、日吉地域の施設や公民館などでも披露され、大きな喝さいを浴びました。



▲吉利南区太鼓踊り



▲諏訪太鼓踊り

英語の楽しさをひいて学ぶ

日置市「日丸」ご英語体験

「日置市「日丸」ご英語体験」が八月十七日、中央公民館で行われました。この事業は、市内の参加希望の児童（五・六年生）と外国人指導助手・国際交流員および日置市内小学校教諭などが、英語を使いながら、一日を過ごしてみようというものです。今年も二十九年という多くの児童が参加しました。児童は外国人指導助手や国際交流員の英語による説明を聞きながら英語ゲームを楽しんだり、韓国料理のチヂミ作りにチャレ



ンジしたりしました。最初は、戸惑いがちだった子どもたちも、時間がたつにつれ、簡単な英単語を話したりジェスチャーを交えたりすることによって、外国人指導助手や国際交流員とコミュニケーションをとることができるようになりました。参加した児童に覚えた言葉を尋ねると、一番多かった答えは、「May I help you?」（お手伝いしましょうか?）でした。子どもたちは、英会話を覚えたことに加え、他校の児童



と友達になれたことも、心に残ったようです。

元気よく郷土の歌を暗唱

妙円寺詣りの歌暗唱大会

「妙円寺詣りの歌」の暗唱大会が八月二十一日、伊集院地域の各地区公民館で行われました。これは、22番まである同歌を覚えることで郷土に関心を持ってもらおうと伊集院の小中学生を対象に毎年行われている恒例行事です。今年の参加者は、月色コース（22番まで）七十五人、鳥頭坂コース（15番まで）百十一人、団体七十七団体（二百四人）。

全員が大きな声で元気よく歌っていました。今年で月色コース三回完唱の下島奏くん（妙円寺小六年）は、「妹弟と練習しました。中学生の兄も僕たちの練習を聞いてくれました。今年は緊張せず、堂々とできました」と笑顔で話しました。月色コース完唱者は、十月に開催される、妙円寺詣りフェスタで歌を披露する予定です。

書くことの楽しさを味わう

わくわく作文塾

夏休み期間中の八月四日・五日と十九日・二十日に、中央公民館および日吉地域中央公民館、吹上地域中央公民館で「わくわく作文塾」が開催されました。今夏は、延べ四百人の児童および六十五人の小学校教諭が参加しました。児童は、「わくわく作文塾」で作文の構想・記述・推敲の仕方を学び、夏休みの思い出などを作文用紙にまとめることで、書くことの楽しさを味わうことができました。

参加した児童は、次のような感想を寄せてくれました。

「書くことが頭の中に一杯きて楽しかった」（二年児童）、「自分でどんな作文を書けるようになってうれしい」（四年児童）、「友達と、この言葉は適切かどうか話し合うことで、自分の思いもつかなかった言葉を考えつくことができた」（六年児童）

また、保護者からは次のような感想を聞くことができました。「家で集中して作文を書く姿が見られるようになった」、「作文という、堅苦しいイメージがあった。でも、わくわく作文塾を参観して、作文って楽しいものだと思った」



インターネットの活用で楽しさを実感

インターネット体験会

永吉交換局のADSL化が行われたことにより、六月二十五日から永吉地区でも快適にインターネットができるようになりました。

これにより、初心者の方や今まで興味なかった方にもインターネットを気軽に楽しんでもらいたいと、大寺聡さん（吹上町永吉）が八月十二日、インターネット体験会を開催しました。

体験会では、実際にパソコンを使ってテレビ電話で話したり、インターネットをつないで検索したりと実演しながら説明しました。参加者は「生活に密着していて、使ってみたいと思いました」、「分からないことなどすぐ調べられて、とても便利」とインターネットの楽しさ、利便さを実感したようでした。

カラフルな影絵の世界！

ちいさなまっぼっくり劇場

ちいさなまっぼっくり劇場（パペットショー）、影絵、大型立体紙芝居）が八月七日、日吉中央公民館で行われ、園児や親子が参加しました。影絵では、みんなの大好きな歌とともに人形たちが踊りだすと、子どもたちも一緒に元気よく歌ったり、カニや鳩などを使った影絵を教わって、スクリーンで体験したりしました。また、大型紙芝居が始まると、みんな静かに話を聞き入っていました。



おはなしと歌と音楽がいっぱい詰まったおはなしおじさんの公演に、参加者はとても楽しい時間を過ごしました。

緑を守る活動を訴え最優秀賞を受賞

鹿兒島県緑の少年団活動発表大会

鹿兒島県緑の少年団活動発表大会が八月一日、霧島市溝辺町で行われ、日置市から「伊集院町緑の少年団」が参加しました。当日は、県内各地区の代表五団が発表、伊集院町緑の少年団は「学校林を生かし、緑を守る活動の試み」と題し、矢筈（やはず）岳・諸正岳の植林作業や椎茸栽培、校庭の樹木調べ・緑の募金活動をおして、自然を守り続けていくことの大切さについて発表しました。審査の結果、同少年団は、最優秀賞を受賞し、来年七月に青森県で行われる全国大会へ出場することが決定しました。



地域ぐるみで将来像を描く探検隊

ふるさと水土里の探検隊

地域の資源や問題点を探る「ふるさと水土里の探検隊」が八月九日、飯牟礼地区（伊集院）で行われました。これは、いつも住んでいる地域内を、子どもから高齢者まで一緒に点検し、地域の夢や将来像を考えていくものです。この日は、地区の住民や鹿兒島国際大学地域創生学科の学生など関係者約百五十人が参加、七班に分かれて歩きながら集落内の「良いところ」や「悪いところ」を点検しました。

その後、飯牟礼小体育館で班ごとに点検した結果や将来の夢を書き込んだ探検マップを作成し発表しました。



▲集落内を歩いて探検



▲探検した結果を発表



▲探検マップの作成

大漁！新鮮な魚に大満足



親子地引き網大会

親子地引き網大会が大空会(妙円寺小)・おやじの会(伊集院小)・父ちゃんの会(伊集院北小)合同で八月一日、東市来の江口浜海岸で行われました。この日の参加者は、約百二十人。二手に分かれ、お互いのバランスをみながら、力いっぱい網を引いていました。最後は、海の中に入りながら魚が逃げないように慎重に網を引き上げました。地引き網体験が初めての親子も多く、魚が見えると大きな歓



声が上がります。みんな大喜び。初めて体験した米丸樹君(伊集院小五年)は「網を引くのは、重たくて大変だったけど、夏休みの楽しい思い出になりました」と話し、獲れたての魚を手にとっても満足そうでした。

触れて感じる小さな命

乳児ふれあい体験教室

「乳児ふれあい体験教室」が八月十一日、東市来保健センターで行われ東市来中の生徒五人が参加しました。これは、中学生が乳児や母親とのふれあいを通して、命の尊さや家族のあり方を考え、人思いやる心を深めることを目的としたもの。

参加した中学生は、妊娠シミュレーター体験やオムツ替えなど疑似子育てを体験。その後、乳児健診に加わり、直接赤ちゃんにふれあいました。普段から小さな子どもと接する機会が多いと話す中学生たちは、慣れた様子で赤ちゃんを抱っこしたり、あやしたりしながらお母さんからいろいろな話を聞いていました。



体験を終えた中学生は「赤ちゃんがとてもかわいかった」、「お母さんの子育て話を聞いて大変だと思った」などと話し、育児について多くのことを学び、命の尊さについて感じる事ができたようでした。

ALT着任

日置市の日吉地域担当の新しい外国語指導助手(ALT)として、イギリスのフライムリー(ロンドン近郊)出身のプライス・ケネスさんが着任しました。八月三日には、市長・副市長へのあいさつを済ませ、ALTとしての決意を語ってくれました。

ケネス先生は、母親が日本人ということもあり、日本語もある程度理解できるそうです。

子どもたちに英語を教えることや市民の皆さんとの交流を楽しみにしていますので、見かけたら気軽に声をかけてください。



ALT帰国

チャリー先生の愛称で親しまれていた日吉地域担当の外国語指導助手(ALT)のシャローット・スプリング(イギリスのウェールズ出身)さんが、任期満了のため帰国することになりました。

チャリー先生は、任期中、各学校での英語教育だけでなく、せっべとべなどの地域行事にも積極的に参加し、多くの人と交流を深めてきました。帰国後は、ボランティア活動に取り組みながら、教師の勉強もしてみたいと語ってくれました。今後の活躍をお祈りします。



こけけ杯2連覇！東市来中学校

準優勝は伊集院北中学校



第六回こけけ杯中学校サッカー大会が八月八日から九日まで東市来総合運動公園で開催され、東市来中学校が二年連続優勝しました。大会には、県内および宮崎県から二十八チームが参加、決勝トーナメントには、日置市内から三チームが進出しました。決勝戦は、伊集院北中学校と対戦し、2対1で東市来中学校が勝利しました。

インターハイで活躍

小原遼仁君(競歩)・重江誉寛君(ボクシング)

八月に奈良県で開催された全国高校総合体育大会(近畿まほろば総体)で陸上男子五千メートル競歩の部で準優勝した、小原遼仁君とボクシングフェザー級で第三位の重江誉寛君(二人とも鹿児島城西高校三年)が八月二十日市役所を訪れ、宮路市長に好成績を報告しました。小原君は「国体で優勝し、将来はオリンピックを目指したい」、重江君は今大会準々決勝で全国選抜大会覇者を破った実力の持ち主でもあり「卒業後はプロに転向し、活躍したい」と力強く



話しました。

バレーボール交流大会 九州大会優勝

伊集院V6



八月十四日から十六日まで熊本市で行われた、第二十九回九州ブロックスポーツ少年団バレーボール交流大会で優勝した「伊集院V6」が八月二十日、宮路市長を表彰訪問しました。市長から激励を受けたキャプテンの上野帆奈海さん(伊集院小六年)は「練習の成果が出せてとてもうれしかった。これからの大会も優勝を続けていきたいです」と力強く話しました。

白球を追う少年たち

南九州小学生選抜ソフトボール選手権大会

こけけ旗争奪南九州小学生選抜ソフトボール選手権大会が八月二十三日、東市来総合運動公園で開催されました。この大会は、今年で十回目を数え、県内および宮崎県から二十七チームが参加、各チーム優勝目指し熱戦を繰り広げました。どの試合も白熱した好ゲームとなり、決勝まで勝ち上がったのは、同じ始良地区の富隈ソフトと宮内ソフト。



フトが優勝を果たしました。

プロさながらの取り組みを披露

全国中学校相撲選手権大会



第三十九回全国中学校体育大会の相撲選手権大会が、吹上浜公園体育館内特設相撲場で八月二十二日から二十三日まで開催されました。個人戦の部と団体戦の部に分かれて熱戦が繰り広げられ、団体戦では、鹿児島県の徳之島亀津中学校が三位に入賞しました。また、会場となった体育館の特設相撲場は市内の中学生が土俵作りなど会場設営に参加、側面から大会を支えました。

伊集院地域		吹上地域		東市来地域																					
本田蓮夏	山下流依	大北鉄翔	重留優士	北迫彩郁	梶山璃宇	川之上百音	愛内太陽	小原敷慶史	野元陽琉	池田朋樹	中尾颯太	福田純ノ介	泊晃希	時田陽生	中島心菜	松元美紀	松元美紀	津々見海翔	井手華月	瀬戸山嘉基	花立歩輝	(出生児)	(保護者)	(自治会)	
昇竜一	新平	正弥	裕二	健二	一成	健一	和貴	大助	秀敏	雅光	博幸	大志	真也	祐一	準也	貢	貢	隆司	雄輔	浩二	和弘	三上	三上	三上	
上之馬場	郡下	妙田寺七区	妙田寺七区	向江町	猪鹿倉	中神殿	郡下	つじヶ丘区	寺脇	つじヶ丘区	妙田寺五区	天神馬場	妙田寺三区	妙田寺三区	妙田寺五区	つじヶ丘二区	つじヶ丘二区	妙田寺九区	平古	郡上	郡上	三上	三上	三上	
瀬戸山キミ	佐々木昇龍	福留順造	小池博美	内屋敷キヨ	小原幸子	今村一夫	(故人)	久保積	高木辰二	草原フヂノ	妙見ノブ子	田村和夫	(故人)	川野時代	永山ミヨ	大庭利子	小牧孝治	中間ミカ	南敬吉	妙田園研郎	野崎心月	吉村シカ	(故人)	(保護者)	(自治会)
93郡上	91立野	94郡内	69天神馬場	86古城	66平古	75野田	(享年)	83西郷	75笠ヶ野	87草原	81南区	69諏訪	(享年)	77美山	83永山	85駅前	62杉之迫	95中央	88堀内	65中央	0美山下	95元湯	(享年)	(自治会)	(自治会)
前野チエ子	玉島幸一	西馬場ヨシ	久保ヨシエ	樽野フヂエ	久保サダ	小田秀徳	(故人)	久保積	高木辰二	草原フヂノ	妙見ノブ子	田村和夫	(故人)	川野時代	永山ミヨ	大庭利子	小牧孝治	中間ミカ	南敬吉	妙田園研郎	野崎心月	吉村シカ	(故人)	(保護者)	(自治会)
87上和田	77入来	91平鹿倉	90下中之里	97宮坂	83入来浜	91今田	(享年)	83西郷	75笠ヶ野	87草原	81南区	69諏訪	(享年)	77美山	83永山	85駅前	62杉之迫	95中央	88堀内	65中央	0美山下	95元湯	(享年)	(自治会)	(自治会)

戸籍の窓

おめでとう

8月受付分(敬称略)

このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときに、お申し出ください。

健康情報 ひおき

シリーズ41

みんなでひろげよう!「元気な市民づくり運動」

“特定保健指導” 進行中!

9月は健康増進普及月間です

元気な市民づくり運動
イメージキャラクター
梅太郎

特定保健指導とは?

特定健康診査の結果、いわゆるメタボリックシンドローム(予備群も含む)に当てはまった方に、およそ6カ月の間、生活習慣改善のためのプログラムに参加していただくものです。

日置市では、以下のような特定保健指導プログラムを実施しています。

個別面接を中心とした支援プログラム

担当の保健師または管理栄養士がひとりひとりの生活習慣に合わせてメタボ解消のお手伝いをいたします。

65～74歳の修了者では、半数以上の方が減量に成功しました!

教室を中心としたグループ支援プログラム

『脱!メタボ教室』(各種講話やグループでの話し合いなど月1回程度)で同じ目的を持つ者同士、励まし合いながらメタボ解消へ取り組んでいただくものです。数回の個別面接も行います。

??kg

特定保健指導を受けて

平成20年度特定健康診査の結果、特定保健指導の対象となった方にお話を伺いました。

Q なぜ、特定保健指導を受けたのですか?
A 今まで、何とかしたいと思っていて、ちょうどいいタイミングだったので受けました。

Q 5カ月でどんな変化がありましたか?
A 体重が6kg落ちました。血液検査もほとんど正常になりました。そのため、着られなくなっていた洋服が入るようになりました。自分でもびっくりです。

Q 9月で終了ですが、これからは?
A あと1、2kg減量したら、それを維持するよう今の生活を継続していきたいです。

Q 特定保健指導の対象となった方へメッセージを!
A 担当者が簡単にできることを提案してくれるので、自分にできる簡単なことからやってみる事です。「私にはできない」と重く受け止めないで、まず一歩踏み出しては。

☆リボンシリーズ☆ 9月のリボンは…グリーンリボン

グリーンリボンは「移植医療普及」を表しています。臓器移植患者団体連合会では、移植医療の象徴として、1980年代からアメリカで始まり、現在では世界的に使われているグリーンリボンを胸につける運動を行っています。

グリーンは成長と新しいいのちを意味する移植医療のシンボルカラーです。リボンは、ギフト・オブ・ライフ(いのちの贈り物)によって結ばれたドナーとレシピエントのいのちのつながりを表現しています。


鹿児島県身障者用駐車場利用証制度 (パーキングパーミット制度) が始まります。

鹿児島県では、障害のある方や高齢の方、妊産婦など歩行の困難な方が身障者用駐車場を利用しやすくするために、県内共通の利用証を発行する「鹿児島県身障者用駐車場利用証制度(パーキングパーミット制度)」を平成21年11月から始めます。

利用証は、ハートピアかごしまおよび地域振興局・支庁等において、交付を行っております。また、利用証をお持ちでない方々につきましては、当制度の趣旨をご理解の上、身障者用駐車場に駐車しないいただきますようご協力をお願いします。

なお、交付対象者・申請方法・申請窓口等につきましては、県のホームページをご覧ください。県庁障害福祉課へお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】 県庁障害福祉課 Tel 099-286-2746



【利用証】

ギャラリー 私の作品展
『和紙ちぎり絵』

山下 郁子さん(74歳) 吹上町永吉

和紙ちぎり絵を始めて25年目になります。始めたきっかけは、旧牧園町に在住のころ一つの作品に出会い、講座に通ったことでした。現在は、永吉地区公民館で自主講座の代表を務め、7人で楽しく活動しています。「ちぎり絵は決して難しくありません。人にはそれぞれ感性があります。同じ題材で作品を作っても個性のある作品に仕上がります。作品が出来上がったときは、達成感があふれます」また、「先日は、帰省中の孫と一緒に作品を作りました」とうれしそうに話します。「毎年、仲間とともに地域の文化祭に出展していますが、多くの人に作品を見ていただいて、少しでも『和紙ちぎり絵』を始めたいと思ってもらえれば」とも。「これからも、仲間とお互いに教えあいながら続けていきたいですね」





ウォッチまちの文化財 51
かばやまひさたか
樺山久高夫妻の墓(吹上地域)

今年、慶長14年(1609)に島津氏が琉球侵攻を行ってから400年になります。シンポジウムが開催されたり、新聞に関係記事が記載されたりしています。その琉球侵攻の総大将であった樺山久高(1560~1634)と夫人の墓が吹上地域の多宝寺跡にあります。多宝寺は鎌倉時代から戦国時代まで、およそ250年にわたり伊作(吹上地域南部)を支配した伊作島津家(島津氏の分家)の菩提寺で、歴代当主や歴代住職の墓などがあります。樺山久高は島津家の重臣で、九州各地や朝鮮などの戦いで活躍し、家老職などを歴任しました。久高の最も知られている業績は琉球侵攻です。久高は3千の兵を率いて琉球の軍を破り、首里城を陥落させました。これ以降、琉球国の一部であった奄美諸島は薩摩藩の直轄となりました。琉球国は、形式上は残ったものの、実際は薩摩藩に支配されることになりました。久高は寛永4年(1627)に出水の地頭から伊作の地頭となり、伊作で亡くなり多宝寺に葬られました。



夢とチャレンジ
わたし

わたしの夢
ぼくの夢は、自動車整備士になり、JAFロードサービスの一員として、社会のために貢献できる仕事に就くことです。そのためには、このことについて学べる工業系の高等学校に進学し、自動車整備についての基礎をしっかり身につけ、その後、さらに深く学ぶために専門学校に行きたいと考えています。また、このように勉強に励むだけでなく、自動車整備士として実際に社会で活躍させていきたいです。

上市来中学校 二年 岩本 友樹くん
いわもと ゆづき

ぼくは、夢の実現のために、さまざまな情報収集にも努めていきたいです。進路は、夢の実現のためには、道は進んでいけません。途中で迷ったときは、絶対にあきらめたりはせずに、両親や学校の先生、友人らに相談したりして解決していこうと思います。自分を信じ、夢の実現と無限の可能性に向かって真っすぐ道を進んでいきたいです。

いきいき
シリーズ52
人
日置に生きる

「この地にたどり着くまで九州各地の過疎地域や産直センター(道の駅)を見てきました。その中でも東シナ海に面しており、歴史のある場所や温泉郷、そして鹿児島で一番栄えている道の駅もあることが気に入りました」と話す富田さん。茨城県出身で、東京の大学で農業を学び、平成十一年から青年海外協力隊の一員としてアフリカのマラウイ共和国で野菜栽培を指導した経験があります。平成十七年に東市来町へ移住して四年目。現在は、約一ヘクタールの畑で多くの野菜を作り、地元では江口蓬菜館、こけけ特産品販売所、光農園へ出荷しています。「移住してきた当初は孤独感もありましたが、三年おきに開催される地元の伝統行事『伊作田踊り』に参加して、多くの方と知り合うことができ、地域の温かさを感じました。今では、自治会の産業振興部長をしています」と話します。

また、常に、農業で何ができるかを考え、それが村おこしであったり友達をつくることであったりと農業を通して過疎化問題にも取り組んでいます。そんな富田さんの楽しみは、温泉と魚釣り。「温泉は毎日近くの銭湯で入り、魚釣りは海が近いので、時間があればいつでも行きます」と笑顔で話します。「これからは、地域の活性化にもつながるように、青年海外協力隊の帰国隊員の知識や経験を生かし、農業に興味のある都会の人たちとの交流を図りながら、若い人が農業に挑戦できる環境作りを整備していきたいです」



とみ た じゅんや
富田 淳也さん(35歳)
東市来町伊作田(柿之迫自治会)
●富田農園代表
●小作人塾代表

わんぱく直送便

元気のあるお子さんの写真を募集しています。
市内に住む6歳以下のお子さん
①氏名②生年月日③保護者氏名④お子さんの近況(お子さんへのコメント)
⑤広報へのご意見⑥連絡先を添えて、市役所総務課企画課(住所は未だまで送付ください)。

下池 星矢くん(5歳10か月) 翔真くん(3歳8か月)
父 忍さん 母 真紀さん (東市来町湯田)
■おかあさんから
毎日、けんかをしています。兄弟とても仲良しです。このまま、素直な子どもに育ててね。

山口 莉奈ちゃん(10か月)
父 修平さん 母 晃代さん (東市来町湯田)
■おとうさん、おかあさんから
明るく元気な思いやりのある子に育ててくださいね。



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口 51,986人(△17)
男 24,346人(6)
女 27,640人(△23)
世帯数 22,516 (△ 2)
9月1日現在 ()は前月比

市の面積 253.06km²

今月の表紙



「伝統を受け継ぎました」

地域の伝統をつなぐ伊作太鼓踊、半年前から練習を重ね8月28日、南方神社に奉納されました。

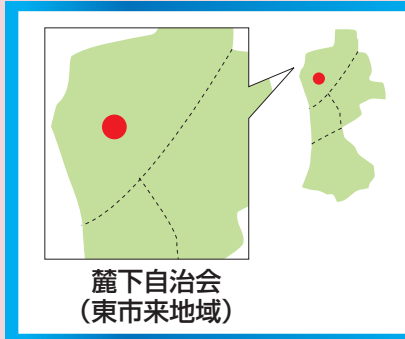
(「伊作太鼓踊奉納」P11 関連記事)

No.53 平成21年9月号

発行/日置市役所
総務企画部企画課
〒899-2592
日置市伊集院町第一丁目100番地
TEL 099 (273) 2111
FAX 099 (273) 3063
東市来支所
TEL 099 (274) 2111
日吉支所
TEL 099 (292) 2111
吹上支所
TEL 099 (296) 2111

http://www.city.hioki.kagoshima.jp/

東市来地域の中心部の鶴丸校区のほぼ中心に位置する麓下自治会。平成二十一年九月一日現在で二百七十三世帯、六百七十七人が暮らしています。
北に平之城跡や鶴丸城本丸跡の山を背にして、南に裾を広げ江口川沿いに開けた東西約一キロ、南北約六百メートルの地に古い歴史と由緒ある史跡が残る地域です。



わが地域

麓下自治会 (東市来地域)



▲囲碁・将棋・五目並べて楽しむ会



▲永田鐵山会長

麓下自治会 (東市来地域)
ふたごせ
中・地区公民館と連携を図りながら、元気な地域づくり

東市来地域の中心に位置する麓下自治会、総務部、事業部、文化部、体育部、婦人部を中心に一体となり地域の行事など、みんなで協力しながら、実施しています。
五月に開催される親ぼくレクリエーション大会は、幼児から高齢者まで楽しめる競技を準備、地域内のたくさんの方が参加します。その後、北分遺所の指導を受けながら行われる消火器訓練も毎年実施しています。
子どもから高齢者まで親ぼくを図るための「囲碁・将棋・五目並べて楽しむ会」は、夏と冬の二回開催し交流を楽しんでいます。
昨年の八月には、初めての取り組みとして、子ども育成会と一緒に、集落内の史跡や記念碑などを歩いて見て回る「集落内の歴史ロード巡り・宝探し

散策」を実施しました。この日、集落内で大きいと思われる樹木五本の幹周りを測ったりしました。
九月に開催される敬老祝賀会は子どもたちも参加し、手作りのプレゼントを渡すなど、みんなで祝います。
また、同時に「六十年前をもっと語り合おう聞こう会」と題して、子どもたちに終戦の年の様子など高齢者、自らが体験したこと話し、平和のありがたさを感じてもらいます。
大声競争は、元気を出そうと昨年の元旦から実施しており初詣の後「麓下頑張れ」な



▲新備品で交流おたのしみ会

ど、みんな大きな声を張り上げました。
これらの活動内容や地域の話題など地区住民のだけれどもが共有しようとして年六回から七回「お知らせ版」として発行しています。
昨年は、コミュニティ助成事業を活用して TENTO やパソコンなどを購入し、「新備品で交流おたのしみ会」開催しました。
これからも公民館を拠点に、郷土愛、隣組意識をもっと高め、思いやりと助け合いの心で住みよい地域を目指したいです。



▲初詣の後の大声競争